

## お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を  
心から歓迎いたします。  
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

### 教会の働き

- 10月21日(火)～24日(金)の期間、柳師夫妻が日本牧会者セミナーに参加されます。  
会場:横浜みなとみらいビジョンセンター  
セミナーでの学びと交わりが豊かな恵みの時となり、主の導きと守りがありますようにお祈りください。
- 11月23日(日)本場キムチバザー&コンサートが行われます。主日礼拝は チャン・トンオク牧師が御言葉を取り次いでくださいます。礼拝後 午後2時から バザーとコンサートを行います。チラシとポスターが印刷されました。どうぞ、隣人やご家庭での広報・伝道のためにご活用ください。一枚一枚のチラシが福音の種として用いられることを祈ります。
- 三分ブリッジ伝道法を共に学びましょう！  
教会では、誰でも簡単に福音を伝えることができる「三分ブリッジ伝道法」を、教会全体で覚えて実践していくことを目指しています。

### 聖徒の為に祈りましょう。

- ・コロナとインフルエンザから守られますように。
- ・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
- ・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんの為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)



## 「信仰とは何でしょうか」

ルカの福音書 17章5～10節

5 使徒たちは主に言った。「私たちの信仰を増し加えてください。」6 すると主は言われた。「もしあなたがたに、からし種ほどの信仰があれば、この桑の木に『根元から抜かれて、海の中に植われ』と言うなら、あなたがたに従います。…9 しもべが命じられたことをしたからといって、主人はそのしもべに感謝するのでしょうか。10 同じようにあなたがたも、自分に命じられたことをすべて行ったら、『私たちは取るに足りないしもべです。なすべきことをしただけです』と言いなさい。」

### 来週礼拝奉仕者

主日礼拝 柳澄香(賛美リーダー) 高木はつ江(祈禱)  
夕方賛美礼拝 柳澄香(賛美リーダー) 熊谷茂美(祈禱)  
水曜礼拝 北原孝子(司会) 韓芽唯(祈禱)

### 礼拝時間案内

主日礼拝	AM 11:00
夕方賛美礼拝	PM 2:30
教会学校(小学生まで)	AM 9:50～10:30
水曜礼拝	PM 7:00
祈禱会・火・木曜日	PM 8:30～9:30
土曜日	PM 8:00～9:00

週報 2025-42 号

2025.10.19

## 神の国とその義を 第一に求める

宗教法人 イエス・キリスト

# 飯田福音教会



395-0807 飯田市鼎切石 3883-4

TEL 0265-56-8286

[www.iidahc.com](http://www.iidahc.com)

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)  
副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

<b>主日礼拝</b>		<b>AM 11:00～</b>
	賛美リード	韓芽唯
信仰告白	(使徒信条)	
代表祈禱	松島スヤンティ	
特別賛美	インマヌエル聖歌隊	
聖書箇所	ルカの福音書 17:5-10	
	(信仰とは何でしょうか? 1)	
メッセージ	柳承吉牧師	
賛美	神の家族	
祝 禱	柳承吉牧師	

夕方賛美礼拝		PM 2:30～
	賛美リード	韓芽唯
代表祈禱	北原明子	
聖書箇所	第一テサロニケ 5:21-28	
	(聖い生き方をしなさい。3)	
メッセージ	柳 承吉牧師	
主の祈り		

水曜礼拝		PM 7:00～
司 会	松島スヤンティ	
代表祈禱	松島浩一	
聖書箇所	ローマ書 7:19-25	
メッセージ	ローマ書 7 章の概略(8)	柳承吉牧師
主の祈り		

<b>今週の御言葉</b>	
<b>「信仰とは何でしょうか」</b>	
ルカの福音書 17 章 5～10 節	
皆さん、信仰とは何でしょうか。	
この問いに明確な一言で答えるのは決して簡単ではありません。なぜなら、信仰とは形のない生きたものだからです。	
ヘブル人への手紙 11 章では、「信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えない事実を確信させるものです」と記されています。しかしこれは、信仰全体を定義した言葉というよりも、信仰の一側面を語るための前提の言葉です。	
実際、信仰は時と場合によってその姿を変えます。ある時はへりくだりとして、ある時は従順として現れます。また、誘惑の中で揺るがない勇気として、損失をいとわない愛の行動として、あるいは静かな微笑みや優しい言葉としても現れるのです。	
今日の本文は、使徒たちが主イエスにこう願ったところから始まります。「私たちの信仰を増し加えてください。」(17:5)	
なぜ彼らはそのように願ったのでしょうか。	
直前の箇所で、イエスはこう語られました。「つまずきが起こるのは避けられませんが、つまずきをもたらす者はわざわざいす。小さい者の一人をつまずかせるくらいなら、石うすを首に掛けられて海に投げ込まれる方がましだ。」(17:1-2) そしてこうも言われます。	
「兄弟が罪を犯したなら、戒めなさい。そして悔い改	

めるなら、赦しなさい。一日に七回あなたに対して罪を犯しても、七回あなたのところに来て『悔い改めます』と言うなら、赦しなさい。」(17:3-4)	
考えてみてください。	
人をつまずかせず、一日に七度も赦す。これは人間の力では到底できないことです。ですから弟子たちは正直にこう言ったのです。「主よ、私たちにはそんな力がありません。もっと大きな信仰をください。」	
私たちも同じではないでしょうか。	
「主よ、私は弱いです。もっと信仰をください。」そう祈る時、私たちは「今の自分ではできない」という正直な思いを主の前に告白しているのです。	
しかし主の答えは、弟子たちが期待したものとは違いました。	
「もしあなたがたに、からし種ほどの信仰があれば、この桑の木に『根元から抜かれて、海の中に植われ』と言うなら、あなたがたに従います。」(17:6)	
イエスは「もっと大きな信仰が必要だ」とは言われませんでした。	
「からし種一粒の信仰で十分だ」と言われたのです。からし種は当時、最も小さい種の一つでした。	
しかしその中には“いのち”があります。小さくても、確かな生命力を持ち、成長し、やがて大きな木となり、鳥が巣を作るほどになるのです。	
主はここで、「量ではなく、いのちだ」と教えられています。信仰が小さくても、それが生きているならば神の力を動かすのです。	
生きた信仰とは何か？	来週に続く…